

# 平成29年度 第2回宝達志水町文化財保護審議会 会議録

日 時:平成30年 2月19日(月) 午後 3時 ~

場 所:宝達志水町生涯学習センターさくらドーム 21  
2階 セミナー室

## 出席者

委 員 出倉会長、村上副会長、山岸委員、大窪委員、秋田委員  
末森委員、金山委員  
事務局 山岸教育長、村井室長、竹森主事

## 1 開会

## 2 会長あいさつ

## 3 教育長あいさつ

## 4 平成29年度文化財保護事業報告(事務局)

### (1)国指定文化財関係

#### ①喜多家

・喜多家敷地内の樹木伐採について

重要文化財敷地内において重要文化財建造物・来館者に被害の及ぶ可能性の高い枯死樹木の伐採撤去を行った。

・能登空港利用促進事業に協力し、関東からの観光客が増加(9月~11月)

・文化財防火訓練の実施(1月21日実施)

・自然災害による被害について

台風被害-雨戸応急修理、大雪による被害-窓ガラス・瓦の破損

#### ②散田金谷古墳

・古墳墳丘及び周辺の草刈りを町で2回実施。

・事前申請に限り古墳内部を見学(入り口門扉を解錠)説明の実施。

### (2)県指定文化財関係

#### ①岡部家

・荻谷地区要望に対応するため、おさきの宮周辺の樹木伐採撤去を行う。

・門扉屋根瓦の修繕

#### ②末森城跡

・地図(縄張)記載のパンフレット 5,000部を作成・パンフレットスタンドに設置した。

### (3)町指定文化財関係

#### ・臼が峰、御上使往来について

下草刈りをシルバー人材センターに委託。

6月下旬に公民館事業(ディスカバリーウォーク)を実施。

### (4)公民館事業への協力

#### ・ディスカバリーウォークを3回実施

①志雄地区 ②御館・三日町・中野地区 ③臼ヶ峰往来

#### ・2月に県埋文センター職員による出前考古学講座で町埋文センターを使用

### (5)埋蔵文化財センターについて

・開館に向けて用途変更作業を進め、10月に開所式を経て11月1日より開館。  
今後、改修工事を進め、施設整備と展示室の充実を図る。

・8月に、地域研究者の収集遺物を受け入れ、一部整理作業実施。

## 5 平成30年度能登文化財保護連絡協議会について

・大会開催地 羽咋市

・日程 平成30年 9月下旬～10月初旬

・「能登の文化財」第52輯 能登国成立1300年事業への寄稿について  
執筆依頼済

## 6 意見交換

出倉会長 大雪の被害については、事務局で報告があった以外に、ゼンショウジキクザクラ(県指定天然記念物)の枝が折れてしまっている。

末森委員 喜多家は、枯死樹木を伐採したことで、例年より折れた枝は少なかった。  
ただ、大雪で雪吊りが重さに耐えられずつぶれてしまっている。

事務局 ゼンショウジキクザクラについては、雪が溶ける3月に折れた箇所の手入れを行います。喜多家の庭園については、造園業者により相談したところ、無理に外すと植物に負担がかかるため、雪が溶けるのに合わせて雪吊りはずすとのことでした。また、岡部家の庭園も、雪の重みで雪吊りの支柱が折れましたので、業者に依頼する予定です。

出倉会長 事務局は予算措置をお願いします。

宝達志水町埋蔵文化財センターの中身の充実について、事務局の考えを聞かせてほしい。

事務局 埋蔵文化財センターについては、県文化財課と相談し、整備・展示について検討していきます。また、改修後は公民館事業との共同事業の実施や、地域住民に多く施設を利用してもらえるよう、普及活動を行っていききたい。

出倉会長 出土品だけでなく、例えば、宝達金山関係の資料の収集や展示等はできないのか。

事務局 宝達金山関係の資料(古文書や道具など)は宝達地区のくず会館で保管・展示されています。埋蔵文化財センターは、埋蔵文化財の国庫補助事業で改修を行うこともあり、常設展は埋蔵文化財(出土品)が中心になります。古文書や民俗資料の展示については、特別展で展示・公開を検討しています。

出倉会長 埋蔵文化財センターで、資料の散逸を防ぐために古文書や民俗資料の保管・管理ができないか検討してほしい

山岸委員 以前行っていた町の文化財視察を再開してほしい。

秋田委員 文化財は地域にとって重要なもの。文化財保護審議委員をしても、まだ見たことのない指定文化財があるため、ぜひとも視察を行ってほしい。

事務局 平成30年度第1回文化財保護審議会に実施するよう調整します。

## 7 閉会あいさつ(副会長)